

今年4年ぶりに関西方面（京都・奈良）の2泊3日の修学旅行となりました。1日目は、奈良で薬師寺で僧侶の説法を聞き、東大寺では南大門と大仏を見学しました。2日目は金閣寺、太秦映画村、清水寺、三十三間堂と京都の日本の伝統文化に触れました。3日目はカップヌードルミュージアム（大阪）で自分で考えたデザインを入れたカップヌードルを作り、最後は神戸の南京町（中華街）の散策を行いました。3年生にとっては、一生に一度の修学旅行であり、一人一人にたくさんの思い出と学んだことがあると思います。この修学旅行で学んだことを生かして、最上級生としてこれからの学校生活において1・2年生の模範となることを期待しています。最後に保護者の皆様には、修学旅行に向けての準備等について、ご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

○生徒の感想

私が修学旅行で学んだのは、「仲間の大切さ」です。

旅館でのレクリエーションが盛り上がったのは、出し物をしてくれた人のおかげでもあるけれど、見ている人達が大きな拍手や声で盛り上げてくれたおかげでもあると思います。又、整列や点呼を班や学年で協力して素早く行動できていたから、誰も欠けることなく3日間を過ごすことができました。

学年と過ごす期間は1年もないけど、これから新しい思い出をたくさんつくっていききたいです。

この修学旅行でルールやマナーを守ることの大切さを学びました。

ルールは、自分や人の命を守るために必要なことと分かっていましたが、この修学旅行でマナーを守る必要性を改めて実感しました。マナーは、その場を利用する人全員がいやな気持ちをしないようにする大人になっていくために守るべきものと思いました。

事前にタブレットで調べ学習をしたり、授業で学んでいたとしても、現地に行って、自分の目で確かめて知ることやガイドさんの説明で知ったことがありました。授業でいろいろなことを学ぶのも楽しいけれど、その授業で身についた知識を使って、現地であれこれと考えることも楽しかったです。

知識は役に立つことを今回の修学旅行で改めて感じる事ができたので、これから学ぶことの一つ一つを大切にしていきたいと思います。

修学旅行では、お礼を言うことの大切さを学びました。

ホテルやバスの運転手さん等にお礼を言うと、みんな笑顔になって返事を返してくれて、相手も自分もうれしくなるのでとても大切だなと思いました。また、マナーについてもいろいろと知ることができたのでよかったです。

マナーとルールを守った行動をするために、常に正しいのか正しくないのかを判断したり、わからないことがあればわかる人に聞いたりして、いろいろな人達に迷惑をかけない行動をしないといけないことを学びました。

